

# — 第844回九大原子核セミナー —

講師：橘基氏 (佐賀大学)

演題：有限密度 QCD におけるスペクトル連続性

日時：6月27日(金) 16時00分～

場所：理学部 物理大学院講義室 (理学部2号館2階2263室)

## 概要

媒質中での QCD 和則を用いて、カイラル凝縮とダイクォーク凝縮の双方を考慮した場合の、ベクトルメソンのスペクトルを考察する。ダイクォーク凝縮はフレーバー 8 重項と 1 重項の間の質量分岐の源となる。さらに高密度では 1 重項は低エネルギースペクトルから消失し、8 重項はフェルミオンのギャップエネルギーと同程度の質量を有することが確かめられる。これらを通じて、Schafer と Wilczek が以前に提唱した「クォークハドロン連続性仮説」との関係性についても論じる。

参考：T. Hatsuda, M. Tachibana and N. Yamamoto, arXiv:0802.4143[hep-ph]

連絡先：九州大学理学部物理学教室原子核理論研究室

TEL : 092-642-2111 (内線 8357)

小路 拓也 (shoji@phys.kyushu-u.ac.jp)

No. 787      平成 20 年 6 月 6 日